# 3-2.公的年金制度に対する意見　性別/年代別

- 公的年金制度に対する意見を確認したところ、「世代間の不公平問題を一層是正すべき」(41%)、「所得の多い高齢者の負担を増やす」(41%)など負担額の是正に関する項目が上位に挙がっている。その他、「未納問題の解決を最優先すべき」(36%)、「将来の自分の年金が正しく支払われるのか不安」(34%)などが続く。
- 性別でみると、女性は、「サラリーマン家庭の専業主婦の保険料負担の是正」を挙げる人が、男性よりも多く24%となっている。
- 若い世代ほど、「世代間の不公平問題を一層是正すべき」と考える人が多く、20代では、57%にのぼっており、70代と比べると30ポイント近く高い。

公的年金制度に対する意見(3つまで回答可)＜性別/年代別＞

| | | n | 若い世代ほど払った保険料に対して年金の受取額は少なくなる、世代間の不公平問題を一層是正すべきである | 所得の多い高齢者の負担を増やし、公的年金制度を支える側に回ってもらうべきである | 国民年金の未納が深刻であり、未納問題の解決を最優先すべきである | 保険料支払の記録管理が不十分で将来の自分の年金が正しく支払われるのか不安である | 年金の給付水準が低すぎるため、老後の生活を支えることができるのか不安である | 年金基金の資産運用を改善し、給付充実に活用すべきである | サラリーマン家庭の専業主婦などについては、本人が保険料を負担せずに年金を保障されているが、公平の観点から是正を図るべきである | 公的年金制度の財政基盤を強化すべきであり、公費負担比率の引き上げを確実に行うべきである | その他 | 現行の年金制度に特に大きな不安・不満はない | わからない |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | 2000 | 40.5 | 40.4 | 36.0 | 34.0 | 33.7 | 26.9 | 20.2 | 16.8 | 3.6 | 0.1 | 5.6 |
| 性別 | 男性 | 964 | 39.1 | 40.0 | 37.1 | 33.5 | 31.0 | 29.1 | 16.4 | 21.7 | 4.6 | 0.1 | 4.8 |
| | 女性 | 1036 | 41.8 | 40.7 | 34.8 | 34.4 | 36.2 | 24.8 | 23.6 | 12.3 | 2.6 | 0.1 | 6.4 |
| 年代別 | 20～29歳 | 288 | 57.3 | 34.0 | 28.1 | 38.2 | 30.2 | 19.8 | 16.7 | 11.8 | 3.5 | 0.3 | 9.0 |
| | 30～39歳 | 361 | 50.7 | 44.3 | 33.0 | 36.3 | 36.0 | 24.4 | 13.3 | 9.1 | 3.9 | 40.5 | 4.4 |
| | 40～49歳 | 306 | 46.1 | 39.2 | 32.0 | 41.8 | 38.6 | 19.3 | 18.0 | 11.8 | 3.6 | 0.0 | 7.2 |
| | 50～59歳 | 355 | 32.7 | 39.2 | 35.2 | 35.2 | 33.2 | 28.5 | 25.1 | 15.5 | 4.5 | 0.0 | 4.5 |
| | 60～69歳 | 461 | 30.8 | 43.0 | 40.8 | 28.9 | 34.7 | 31.0 | 23.9 | 22.3 | 3.5 | 0.0 | 4.8 |
| | 70～79歳 | 200 | 29.0 | 40.0 | 49.0 | 21.5 | 25.5 | 40.0 | 24.0 | 31.5 | 1.5 | 0.5 | 4.5 |
| | 80歳以上 | 29 | 17.2 | 44.8 | 34.5 | 31.0 | 34.5 | 34.5 | 17.2 | 41.4 | 3.4 | 0.0 | 3.4 |